



こんなときどうする？
「税金・公共料金」の
支払いあるある

口座振替なら漏れなし、手間

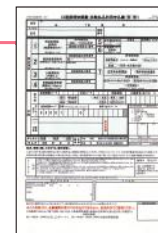
なし、安全確実!

支払い漏れが心配



一度の手続で、支払いの手間が省ける口座振替。もちろん手数料は無料0円です。

解説



口座振替依頼書(例)

● 口座振替納付とは?

支払期限(各納期の末日など)に預貯金口座から納税資金を引落とし、自動的に納税することができます。

● メリットは?

① 支払い忘れがない

税金種別によって異なる支払期限を気にする必要がなくなります。支払期限を超過して延滞金が発生するリスクも抑えられます。

② 支払いの手間が省ける

税金種別ごとに手続は必要ですが、一度、口座振替の手続をすれば、自動で預貯金口座から引落としがされるため、支払いの手間が省けます。

③ 選べる支払方法

口座振替の場合も、希望に合わせて期別納付(分納)と全期納付(全納)のいずれかを選択できます(国税を除く)。

※支払先によって、口座振替に対応する税金種別が異なりますので、各支払先にご確認ください。

● 申込方法

税務署や自治体などの窓口においてある口座振替依頼書に必要事項を記入し、それぞれの窓口で口座振替の手続を行います。

<必要なもの> 納税通知書・預貯金通帳・金融機関届出印

※郵送やWEBでの申込みが可能な支払先もありますので、各支払先にご確認ください。

毎年・毎月支払うものなら口座振替が便利ですよ!



「知らない」のはモッタイナイ!?



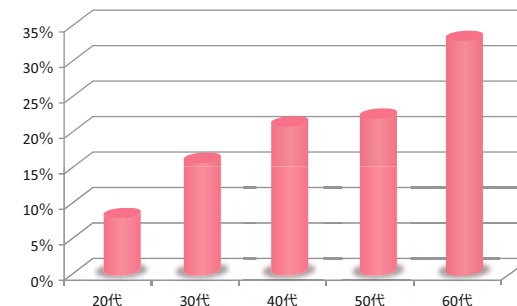
便利な口座振替

支払い漏れが心配



実は若年層ほど窓口以外の支払方法での納付率が低い事実!「知らない」のはモッタイナイ!?

■世代別／窓口以外の支払方法を実践する人の割合



出典:一般社団法人全国銀行協会調べ(調査委託会社:野村総合研究所)2018年9月現在

● 窓口以外の支払方法利用者は年齢が高い人ほど多い

少し意外な結果ですが、20代から50代の窓口以外の支払方法の利用率は、1割~2割程度と、60代以上に比べて少ないのが現状です。

● 理由は、窓口以外の支払方法を「知らない」から!?

その理由として挙げられるのが以下の通り。

- ✓ 窓口以外の支払いができることを「知らない」
- ✓ 窓口以外の支払いができることは知っているが、そのやり方を「知らない」

1980年代以降の生まれのデジタルネイティブ世代にとっても、窓口以外の支払いが身近で便利。ぜひ、本冊子をきっかけに活用してみよう!







付いてるかな、 ペイジー マーク 自動車税だけじゃない!

各種税金、公共料金などの支払いも インターネットバンキングでラクラク!

解説

Pay-easy(ペイジー)は、インターネットバンキングやATMを使って、税金、公共料金、その他料金の支払いができるサービスです。納付書や請求書にPay-easy(ペイジー)マークが付いていればPay-easy(ペイジー)で支払えます。ここでは主にインターネットバンキングを使った方法を説明します。

「いつでも」「どこでも」「手数料無料で簡単」 Pay-easy(ペイジー)〈インターネットバンキング〉3つの特長

特長1 24時間365日、いつでもパソコンやスマホで支払いOK!



支払いを忘れていた期限ギリギリの納付書、
気づいたのが夜で、窓口が閉まっていた!

こんな経験ありませんか?

Pay-easy(ペイジー)なら、24時間365日いつでもパソコンやスマホから対応できるので、夜中や休日にも支払いができます。

※お使いの金融機関でインターネットバンキングの契約が別途必要です。
※支払先ごとに取扱いができる金融機関が異なりますので、支払先のホームページや納付書裏面に記載の取扱い金融機関をご確認ください。



助かった!

特長2 自宅でも、外出先でもどこでも支払いOK!



お昼時は銀行の窓口もコンビニも大行列。
わざわざ現金を引き出して支払うのも手間だな...

Pay-easy(ペイジー)なら、場所を選ばず、パソコンやスマホ、さらにATMからの支払いも可能です(ATMによる支払いの詳細は、「あるある その6」(P.25~)へ)。

現金を引き出す必要もなく、支払いを完了できます。

※ご利用可能なATMには「Pay-easy(ペイジー)」マークが表示されています。
※一部のコンビニエンスストアに設置されているATMでは支払いできません。



便利ね!

特長3 税金、各種料金が手数料無料で簡単に支払いOK!



便利なのはいいけど、手数料がかかるのでは?

税金、公共料金、インターネットでの買い物など各種料金が、インターネットバンキング、ATMで、簡単な操作で支払えます。手数料も原則無料です。

※ATMご利用の場合、金融機関によっては時間外手数料がかかる場合があります。
※支払先または料金の種類により、一部の料金がかかる場合があります。



お得だな!

登録なしで、すぐに使える!

Pay-easy(ペイジー)〈インターネットバンキング〉の支払方法

税金や公共料金、各種料金も、納付書や請求書にPay-easy(ペイジー)マークが付いていれば、Pay-easy(ペイジー)を使って支払いができます。

※支払先によって、Pay-easy(ペイジー)に対応する税金種別が異なりますので、各支払先にご確認ください。



STEP 1 Pay-easy(ペイジー)を使うための番号を確認しましょう。



インターネットバンキングに接続!



STEP 2 メニューから「Pay-easy(ペイジー)」を選びます。

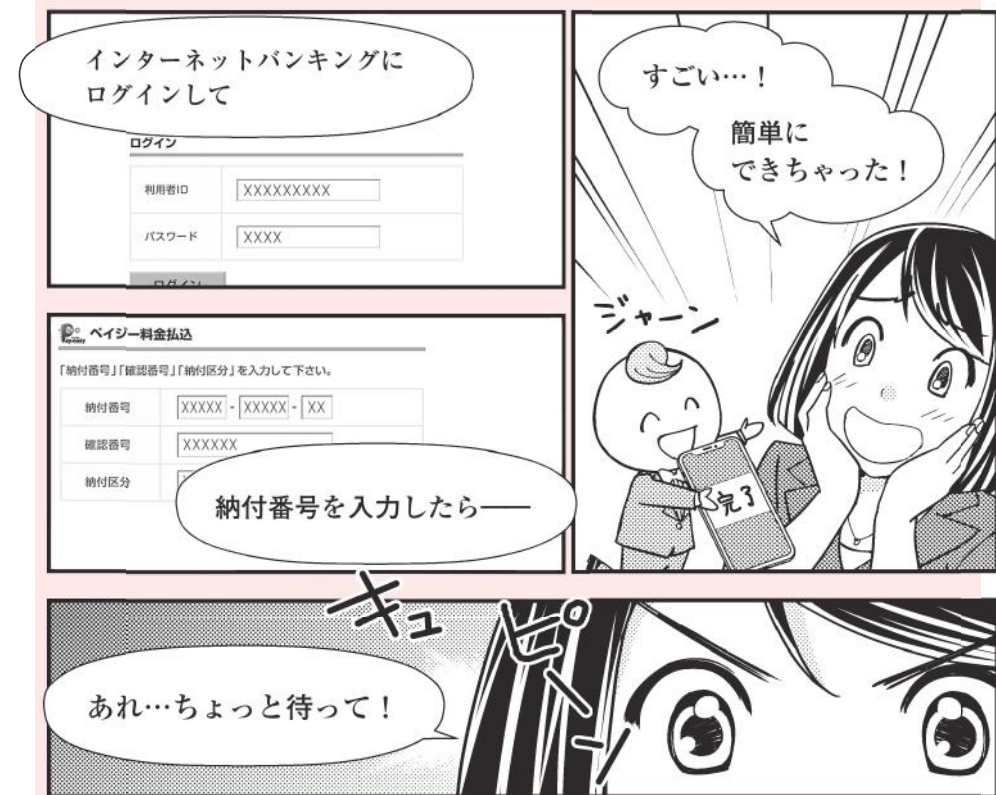
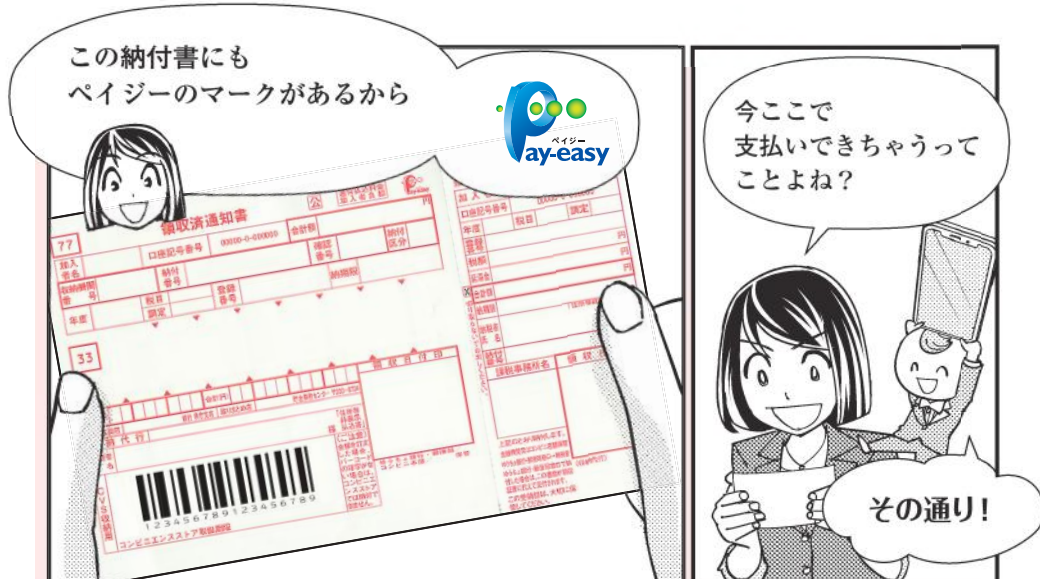


STEP 3 収納機関番号・納付番号・確認番号・納付区分を入力します。



STEP 4 内容を確認し、「払込(支払)」ボタンを押して完了です。







解説

インターネットを利用したクレジットカード払い。ポイントもつきます!

● インターネットを利用したクレジットカード払いとは?

パソコンやスマホからインターネットを利用し、クレジットカードでの納税ができます。自宅や外出先から24時間いつでも簡単に支払うことができます。



手数料※はかかるけど自宅から支払いができて、ついでにポイントもつくのね!

● 利用方法は?

- Step 1 国税クレジットカードお支払いサイトや、お住まいの自治体の納税用のサイトにアクセス
- Step 2 納税する税金種別等を選択・入力
- Step 3 収納機関番号・納付番号・確認番号を入力(国税を除く)
- Step 4 クレジットカード情報を入力して完了



※手数料は支払先等によって異なる場合があります。
※支払先によって、クレジットカードに対応する税金種別が異なりますので、各支払先にご確認ください。
※ポイントについては、カード会社の会員規約に基づきますので、カード会社にご確認ください。





ご自宅でも、外出先でも!
スマホでリアルタイムに支払い可能。

● スマホで簡単・手軽に支払いできる時代に!

バーコードがある納付書なら、納付書に印刷されたバーコードを
スマホのカメラで読み取るだけで、コンビニや銀行窓口に行かなく
ても24時間お支払いが可能です。

〈納付書例〉



スマホアプリで
納付書のバーコードを
読み取ればOK!



● 自分に合った方法を選ぶのも魅力

スマホでの支払いは「PayJ」「モバイルレジ」等の方法があります。

※携帯電話でダウンロードできるアプリもあります。

※支払先によって対応する税金種別が異なりますので、各支払先にご確認ください。

※お取り扱いの可否は支払先によって異なります。なお、国税は現在対応しておりません。

● 今後はQRコードの活用も!

小売店や飲食店でQRコードにスマホをかざすだけで、現金を使わずに支払える「QR
コード決済」。

現在、多くの金融機関が参加可能な枠組み、および、納付書に印刷されたQRコードを
スマホで読み取ることで支払いが可能な仕組みを、銀行界全体で検討しています。

※QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



解説





銀行の窓口の待ち時間なし。
ATMでスピーディに支払い完了。



解説

納付書や請求書にPay-easy(ページ)マークが付いていればページで支払えます。
※支払先によって、ページに対応する税金種別が異なりますので、各支払先にご確認ください。

「何が支払える?」「手数料は?」「新型ATMって?」 Pay-easy(ページ)〈ATM〉3つの疑問に答えます!

Q1 どの金融機関でも払える?どんなものが払えるの?

・Pay-easy(ページ)マークの付いているATMでお支払いが可能です。

<全国のPay-easy(ページ)対応金融機関を調べる>
https://www.pay-easy.jp/where/list_atm.php#list



・一部のコンビニに設置されているATMではご利用できません。
・キャッシュカードまたは現金でお支払いできます。



Q2 ATMで支払っても、手数料は無料?

通常のATMの使用条件に準じます。

税金、公共料金、インターネットでの買い物など各種料金が、ATMで、簡単な操作で支払えます。手数料も原則無料です。

※金融機関によっては時間外手数料がかかる場合があります。
※支払先または料金の種類により、一部の料金がかかる場合があります。



Q3 もっとはやく、もっと便利になりますか?

一部の地域・金融機関においては、税金など各種払込票の取扱いが可能な新型ATMが導入されています。収納機関番号等を自動で読取りするため、面倒な入力が不要になりました。

■機能



・Pay-easy(ページ)取引の際は、イメージ領収証を発行しません。
・各種払込票の取扱いが可能な新型ATMは、Pay-easy(ページ)マークがない納付書や請求書にも対応しています。

登録なしで、すぐに使える!

Pay-easy(ページ)〈ATM〉の支払方法

税金や公共料金、各種料金も、納付書や請求書にPay-easy(ページ)マークが付いていれば、ATMを使って支払いができます。

※支払先によって、Pay-easy(ページ)に対応する税金種別が異なりますので、各支払先にご確認ください。



STEP 1

Pay-easy(ページ)を使うための番号を確認しましょう。



STEP 2

メニューから「Pay-easy(ページ)」を選びます。

※ATMによっては「税金・料金払込み」と表示される場合があります。



STEP 3

収納機関番号・納付番号・確認番号・納付区分を入力します。



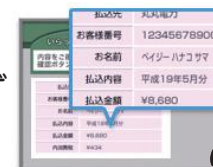
STEP 4

キャッシュカードで支払う場合は
暗証番号を入力、
現金で支払う場合は、ATMに現金を投入します。

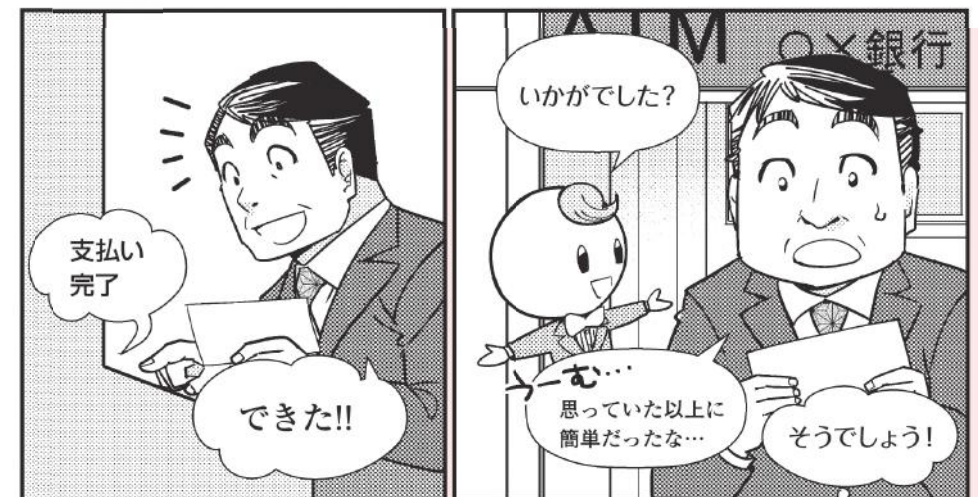


STEP 5

内容を確認し、「払込(支払)」ボタンを押して完了です。支払い完了後は、必ず明細票を受け取ってください。



※納付書と画面はイメージです。





買い物ついでに支払いできて便利! コンビニエンスストアで24時間支払い可能です。

バーコードが印字された納付書で支払期限内(指定期限内)であれば、全国の主要なコンビニエンスストアで支払うことができます。

● コンビニでのお支払い方法

・納付書(以下参照)を持ってコンビニのレジへ行けばOK。とっても簡単です。



● 納付書に記載されている期限までに支払しましょう

※国税については、QRコードを利用したコンビニ支払いが可能です(2019年1月開始)。

詳しくは下記国税庁ホームページをご覧ください。

https://www.nta.go.jp/taxes/nozei/nofu/conveni_qr_nofu/index.htm





解説

税金を支払い忘れたらどうなる!?
延滞税に気をつけて。

税金は「いつまでに納めなければならないのか」という期限も大切です。万一、延滞すると延滞税もかかるので、期限を守ってしっかり支払いましょう。

● 延滞税ってどのくらいかかるの？

- ・期限の翌日から支払いまでの日数に応じて、利息に相当する金額が課されます。
- ・2ヵ月以上遅れると「延滞税」*1が高くなります。

延滞税の利率	
支払期限～2ヵ月を経過する日まで	年「7.3%」と「特例基準割合*2+1%」 いずれか低い割合
2ヵ月を経過する日の翌日以降	年「14.6%」と「特例基準割合*2+7.3%」 いずれか低い割合

*1 自動車税や固定資産税などの地方税は「延滞金」と呼び、支払期限の翌日から1ヵ月を経過する日以降は利率が高くなります。

*2 特例基準割合とは
国税での延滞税、利子税や地方税等での延滞金、還付加算金の算定等に使用される数値のこと。
各年の前年の12月15日までに財務大臣が告示する短期貸出約定平均金利の年平均に1%の割合を加算した割合をいいます。

● 口座振替を活用しよう

- ・税金の支払い忘れを防ぐためにも、口座振替を活用すると便利です。

税金の支払期限はそれぞれ違うから気をつけなくちゃ!

